

学校評価アンケート結果報告

(1) 学校評価の観点

例年と同じく「学校運営」「学習活動」「生活指導」「特別活動」「健康・安全」等の観点で、生徒、保護者、地域、教職員に評価アンケートを実施した。

(2) アンケート調査の実施方法

今年度は、生徒、保護者、教員に対しては **classi** のアンケート機能を用いて実施し、地域に対しては **Forms** によるアンケートを実施した。

(3) アンケート調査の時期・回答数

アンケート調査期間は 11 月 16 日～12 月 8 日

回答数は、生徒 558 保護者 317 教員 43 地域 36

(4) 評価結果の概要

昨年度と大きく変わったことは、調査方法の ICT 化をすすめたことであり、近隣住民宅 150 件にアンケートのお願いを投函したが、地域の回答数は昨年度より半減してしまったことは残念な事である。ICT 化は今後もすすめていくべきであるので、アンケート対象を本校と関わりのあるコミュニティ(生徒がボランティアで協力した団体など)に広げるなど調査方法に工夫をしていく必要がある。一方で、保護者の回答数は昨年度よりも増えたのは、生徒を介さず直接 **classi** で配信したからだと思われる。

〈生徒の評価〉

学習指導についての質問項目に関しては、肯定的な回答が昨年度よりも 2～5 ポイント増加している。生活指導についての質問項目に関しても、肯定的な回答が昨年度よりも 0～4 ポイント増加している。進路指導についての質問項目に関しては、肯定的な回答が昨年度よりも 2～11 ポイント増加しており、特に **classi** を効果的に活用できていると回答している生徒が大きく増加している。学校運営全般についての質問項目に関しても、肯定的な回答が昨年度よりも 1～3 ポイント増加している。

〈保護者の評価〉

保護者の回答欄には、今年度より「わからない」という選択肢を追加した。これにより昨年度との単純な比較はできなくなったが、肯定的な回答の減少分は「わからない」と回答した分を足すと昨年度同様になるため、昨年度は「わからない」から肯定的に回答していたと判断できる。そこで、昨年度との変化は否定的な回答数の変化を見ることで判断したところ、多くの項目で昨年度と変わらなかったが、生活指導については否定的な回答が 2～9 ポイント増加して

いることがわかった。生活指導については生徒の回答では肯定的な回答が増えているので、その差を考える必要はある。

〈教員の評価〉

学習指導についての質問項目2「授業で力のある生徒を伸ばす対応は最重点項目であると思いますか」についての肯定的回答が15ポイント増加しており、質問項目1「授業で基礎基本の充実が最重点項目であると思いますか」の96ポイントに並んだ。生活指導については遅刻指導について肯定的回答が昨年度より22ポイント増、身だしなみについては8ポイント減であり、生活指導面は、生徒の回答と保護者の回答と教員の回答を分析する必要があるだろう。進路指導については、質問項目10「進路指導は、適性や希望を生かして行われていると思いますか」についての肯定的回答が昨年度より24ポイント増加している。進路指導についての生徒の回答もおおむね肯定的だが、保護者の回答では否定的回答は少ないものの肯定的回答は多くない。働き方改革については肯定的回答が16～21ポイント増加している。

〈地域の評価〉

地域の回答欄にも今年度より「わからない」という選択肢を追加した。これにより昨年度との単純な比較はできなくなったが、登下校のマナーに関しては、「わからない」という回答はほとんどなく、否定的な回答が1ポイント増加し、数値的にも昨年度から改善されていないと思われる。服装・頭髪指導も否定的な回答が増えた。文化祭は、今年度も限定公開のため地域の方々を招くことができなかった。残念なことに、今年度、肯定的な回答が増えた項目は一つもないが、近隣住民のみならず、部活動などで交流のある小中学校や市役所や公民館をアンケート対象とすれば回答数も増え、肯定的な回答や意見も増えると思われ、次年度のアンケートに生かしたい。